

呼吸器外科専門医 プログラム I

1. コンセプト

呼吸外科医として最も頻度が多く、大切な肺癌手術の手技を、特に開胸下での手技の確実な修得をする。また、胸腔鏡下手術、特に胸腔鏡の操作も修練する。

2. 目標

定型的な呼吸器外科手術手技を修得する。

3. 取得手技

縦隔鏡検査（手技及び診断）、肺動脈造影、気管支動脈造影、気管支動脈内薬剤注入術、気管支動脈塞栓術、開胸下肺葉切除術、区域切除術、肺摘除術、リンパ節郭清を伴う肺切除術、縦隔腫瘍手術、縦隔ドレナージ、心嚢ドレナージ

4. 経験する症例数

手術	目標件数（1年）
肺葉切除術	15
肺区域切除術	5
肺摘除術	3
縦隔腫瘍切除術	5
胸腔鏡下肺葉切除術	15
胸腔鏡下肺区域切除術	3
胸腔鏡下肺部分切除術	8